いわき民報
發行所
平市田町48 電381 176 1222
社報 いわき民報
編集兼印刷人 發行人 登原田

川徳ら十二名（關口を除く）に執行猶豫三年の判決

平市鍛冶町土建業川和德一（三七）ら十三名にかかる殺人未遂、傷害、暴行の最終公判は二十六日午後零時十分から地裁平支部で松本檢事立會いで志村、猪狩、棚村三判事係りで開廷、志村裁判長から次の如く言渡しがあり關口井亮は懲役一年の外全部に執行猶豫三年の判決言渡しがあった

川勾　德一（三七）　懲役三年（求刑四年）執行猶豫三年
伊藤　勇三（四七）　同　一年六月（同三年）　同
小林政次郎（三五）　同　二年六月（同三年六月）　同
關口　井亮（三三）　同一年（同二年六月）
會川　昭雄（二四）　同一年（同二年）　執行猶豫三年
佐藤　存（二五）　同一年（同二年）　同
新妻　富好（二五）　同一年（同二年）　同
鹿俣　愛次（二九）　同一年（同一年）　同
渡邊　幸助（二四）　同一年（同一年六月）　同
馬上　東二（二四）　同一年（同二年）　同
宍戸　幸夫（二二）　同一年（同二年）　同
津田　實（二八）　同一年（同一年）　同
村上　正（二五）　同一年（同一年）　同

殺人未遂に非ず 暴力行爲と斷定 檢事わ控訴を考慮

この日は豫定より遅く正午を十分過ぎに開廷、冒頭伊藤（仙台）辯護人から『各被告人から今刑を受けて今後眞面目に働こうという時に新聞紙に寫眞を出さないで欲しい』と裁判長に申入れがあり裁判長から『遠慮して貰いたい』と話しがあった後志村裁判長から本件は殺人未遂ではなく暴力行爲の處罪に關する法律違反と斷定判決したものである尙諸橋醫博の暴行、傷害並びに平消防部における傷害はそれぞれ無罪と斷定された

これに就いて係りの松本檢事は『意外に輕かった、檢事控訴するかどうかはまだ判らないが七日間には判つきりさせる』と語っていた

ハンスト續く 日鑛で斡旋方申入

昨報＝山田炭鑛勞組、平坑勞組の越年資金要求闘爭のハンストは二十五日朝八時から平市紺屋町平鑛業所前に平坑勞組副組合長鈴木四郎さんら三名がコザむしろにからまって冷え切った冬の夜露を明かします』と頑張っていたが、山元では二十七日午前十時から交渉をもった、このハンストの一行は『朝方が一番冷えました』とマスクをかけ組合員が心配して入れてくれるユタンポを唯一のたより

日鑛當連では二十五日東部鑛に『事態が好轉するまでやり

原因煙草の火 勿來炭鑛のガス爆發事件

昨報＝大日本勿來炭鑛の坑内ガス爆發事件に就いて平勞基署ではその原因調査を二十五日以來引續き行っているが、未だ確定的な發表は無かっていないだが現在のところでは九分通りタバコの火によるものだと調査に當った者は見ている

ガス爆發の現場では目下ガスの排除作業を行い、電氣のスパーク説を考慮して完全送電を行ってみたがケーブル線、局部、爆風機、チェンコンベアーのモータ等電氣機械には全然異狀なく電氣の故障による爆發ではないと判定、問題は現場に殘されていたタバコ一本（火がつけてない）マッチの軸五本（内一本燃えている）安全灯をしばるバンド、やけた作業服、やけた新聞紙等があり結局タバコに火をつけ樣として爆發したものと見られ、この所有者に就いて現場に居た勞働者の聞込み調査に當っている、だが現在のところでは即死した柳原玄德氏の所有ではないかといわれている

なお原平勞基署長は『この調査で坑内衛生は良く休日勞働の罰出もしているので經營者には落度がない』と語っており平炭鑛保安監督部木村、菅野課長は『安全地帶に退避し局部爆風機も動き出したので坑内保安係員澁澤榮氏は切羽現場の下調べにいった途中でこの爆發にあったものだ』といっているのでこの間は切羽には電氣が通っていない、この點も電氣によるものとはみられず目下マッチのスリ箱をフルイにかけて捜じている

現場監督を毆打 亂暴な勞務者を就勞停止

廿五日朝七時四十五分頃内郷町御殿地内の矢對軍業現場で内郷町綴字七反二日雇高木辰雄（二二）は同現場監督長島千春（三九）氏に對し『何故俺にだけ就勞させないか』と顔面を毆打メガネをふっ飛ばし半拳で更に地面に打倒する等の暴行を加えた、同人は去る廿一日十數名の仲間と共に無斷で現場から早歸りし、翌日長島氏から早歸りの理由を詰問され感情的に對立していたがたまたま高木の就勞手帳を預っていた長島氏が紛失したことからわざと俺の手帳を紛失させ就勞を拒否するやだろうと暴行沙汰に及んだもの尙高木は就勞現場の秩序を亂すものとして廿七日から就勞停止の處置を受けることになった

オーバ廿着盜まる 平驛 被服倉庫破らる

二十五日夜半平市白銀町平驛構内被服保管倉庫のカギを破って賊が侵入、業務用オーバ二十着分（時價八万円相當）が盜まれた、この外にも被害あるらしく調べ中

盜難ひんぴん

◇平市五丁目十五東京鑛機株式會社代表者藤浪時康（四五氏＝事務所内から二十四日午後四時から翌朝八時までの間に砲金約十三貫（一万九千円相當）を盜まれた

◇平市舊城跡背米物市場監督役吉田東望さんは二十三日夜中古自轉車一台（一万円相當）を盜まれた

餅を食べ老人悶死

赤井村大字赤井字窪田無職鈴木寅二（七七）さんは二十五日午後九時半頃自宅にて七五三祝いの餅を食べた處ノドにひっかかり間もなく窒息死亡した、同人は中風のため寢ていたもの

◇内郷町綴字一の坪五四採炭夫清野忠次（四〇）さん方では二十四日午後八時ころ留守を狙われ糯米三升其の他書豆大豆等五百円相當を盜まれ内郷町署に屆出た

天気予報 廿六日

【今晩】北西の風稍々強く初めは曇天により小雨か小雪が降る模樣になるが間もなく晴れ段々冷え込みがひどくなるでしょう

【明日】南西の風後北西の風曇りの多い日だが北部山添地方では小雨か小雪のチラつく處もある海上は南西後北西の風により風波が稍々高いですから船舶は御注意

勞務者と保護者に一率に二百圓支給 内郷町會で正式決定

内郷町議會は二十五日午後九時から開催、自由勞務者から要求あった越年資金二千円に就き審議の結果自由勞務者並に生活保護者千百五十名に對し一人二百円計二十三万円支出することに決定、尙午後一時から左の議案を審議原案通り可決した

△上水道布設のため同町綴字大木下協和化學纖維工場を百万円で買收、△固定資産評價員は暫定措置として山崎辰亥、△都市計畫福島地方委員會委員補充本田辰雄、△溫泉浴場を三十一日限り閉鎖、△第一中學校建築委員會は常任委員會執行部一任、△二十五年度才入出追加更生豫算（當初豫算一億二百六十二万六百三十九円）十五万千八百六十八円

赤井勞組の要求を拒絶

赤井村北部自由勞組では二十五日午後二時から同組合長大樂政雄（二七）外三名が本職安所に押し掛けネバリ戰術で約一時間に亘り、▽手帳切換は就勞現場ですること、▽一日賃金最低男二百五十円、女二百円、▽年末年始の有給休暇をとれ、▽小廻り制度を認めよ、の四項目を要求したが職安側ではこの要求はいずれも出來ぬと回答し押問答しのち澁々引揚げた

四俵輸送中を取押らる

國鐵平公安室では二十五日常磐線上り平着七時四十二分の急行二〇四列車を急襲、短時間の間に大豆、アズキなど九俵を押收した

小豆四俵押收

平鐵道公安室では二十五日平着午前一時二十分着上り二二列車の小荷物を臨檢した處平市番匠町三製アン業東新郎（四一）の名義で原町から同人に宛てた干柿と稱するリンゴ箱に小豆約四俵を入れてあるのがわかり押收した

就勞停止

内郷町大字綴字七反田日雇曾田ミツエ（一八）は前後二回に亘り他人の就勞手帳を借りて就勞し自分の手帳で保險金を拂戻したことがわかり平職安所では二十六日から同人に就勞停止を言渡した

お知らせ
一、來る十二月三十一日は日曜日ですが皆様の御便宜のため午前九時より午後三時まで御預金のお預りのみをお取扱い申上げます
一、明年一月一日より三日までは恒例により休業致します
昭和二十五年十二月二十六日
平市内各銀行
同各無盡會社
平信用組合

雪夫人繪圖
木暮實千代 上原謙
27日 夜八時より有料試寫會
28日 より一般公開
29日公開豫定のところ繰上げ致します
平文化

離陸數新樂
料亭 寶來亭
平 新田町 電三三二

年末年始の御宴會は安くて美味しい中華料理で
食 三品 二〇〇円 テーブル卓 四品 一〇〇〇円（四人）
四品 三〇〇円 五品 二〇〇〇円（六人）
定 五品 五〇〇円 六品 三〇〇〇円（八人）
お座敷小宴會格安奉仕いたします
アサヒビール 銘酒 鶴仙特約 中華料理 司 平華
平驛前 電二五八

お待ち兼ねの テーブル掛 裂地の販賣をはじめました
家具のデパート 本 丸ほん
平市三丁目 電一一八 三五九

トウルランプ
東都電球K.K
さかいや本店

中華料理 日本料理 すき燒
會年忘年會には
★豫算御宴會には お一人樣二百円より…
★お座敷をゼヒ御利用下さい
募集 女店員さん 履歴書本人持參
東龍軒 平市中央通 電1136

大歳の市
メリヤス 裏 半
純綿靴下　裏毛メリヤス肌着
純毛セーター　純毛各種肌着
アタタカイ オノミモノ　ナミキドウリ ブラジル
平市三丁目電1144

毎日1等必ず當る 31日迄連合
福引大賣出し
本年陣色を飾る當店への大サービス
良い品は安い内に
太料品の店 さかいや 平市二丁目 電話256番

御貸席
御氣輕に御利用下さい
平市才槌小路二二
喜美華
（天野自轉車店横）

喪中につき年末年始缺禮致します
昭和二十五年十二月
平市中町 瀧川保寛
瀧川保夫

住宅難は依然深刻

解決に千二百戸必要

平市今後十年はかゝる

平市の住宅難は依然として深刻で防空壕住いという原始生活は何時の日にこのマチから消え去るやら…平市の實体をみると住宅難を解決するには來年から約千二百戸（一万坪）の住宅が建てられなければならぬ現狀にある

本年の國勢調査の結果から平市の人口は四万二千九百十名、八千二百七十七世帶住宅狀況は母家三千四百十三世帶、借家三千三百五十九世帶、給與住宅（焦民住宅、會社支給の住宅）五百十九世帶と狹い乍らも吾が家に住む世帶が全部で七千二百九十一世帶、この外明日にも立ちのき要求に迫られる心配にある間借住いが九百八十六世帶、防空壕その他の非住家に住んでいるもの二百四世帶どこの合計千二百世帶へ（約六千人）が直接の住宅難にあっている、これは昭和二十三年に行った住宅調査による非住宅住いの九十世帶と比べて今年の非住家住いは百十四世帶も増えている總体的にみると一人當りの住宅面積が今年は三・一疊と昭和十三年の二・五疊より増加しているが、これは神谷、飯野両村の合併による統計上に現われた農家住宅の影響、又は昭和二十三年以來百六十五戸の焦民住宅建設によるものであるが

現在間借り非住家住いをしている千二百世帶（平均一世帶五・一人）の直接住宅難世帶を解決するには來年から千二百戸以上の住宅を建設せねばならないワケである、然し今動亂の影響で建築資材が値上がりし、一坪當り一万八千円の建築費が掛るというから一戸建（十坪）ザット十八万円（焦民住宅は十坪十四万円）は掛る、だがこれ等の住宅難にあっている人達の中住宅金融公庫（一坪一万八千円借出し）に申込んだのが九月以來二百世帶程度であるから他の千世帶は現在を基準にみて大部分焦民住宅に頼る外は力の無い世帶となるから毎年平均平市で百戸づゝ（二十三年五十戸、二十四年二十戸、二十五年九十五戸、二十六年度百五十戸の計畫）焦民住宅を建設してもザット十年以上はかゝる計算になる

御用納め

市は廿八日

平市役所では二十八日で御用納め、四日から御用始めになるがこの間の一般事務扱いは玄關窓口で受付ける

大晦日も執務

平郵便局

平郵便局では窓口取扱いを大晦日も行う、電報、小荷物は從來通り晝夜の別なく扱う、元日三日間は公休となる

失保金支拂

卅一日まで

平職安所では失業保險金の支拂に大童で年末も三十一日迄業務を續ける、また管内の失業對策事業は三十日迄就勞し三十一日、元日、二日、三日迄休んで四日から就勞を開始することに決定した

廨地地方の檢診成績

平保健所では縣衛生部レントゲン自動車の應援を去る十一月二十二日から十二月廿二日まで一ヵ月間に亘って山間方部の巡回檢診を實施した、檢診した者約一万六百名中精密檢診を要する者一百四十名であった、廨地では物珍らしそうに集まるが檢診を受ける者は少なく小、中學校の學童が主であった、魚村方面は相當に希望者が多く豫定の日程では間に合わない程の盛況であった

内郷の供米

年内完遂か

内郷町では本年度焦米供出千百九十五石の割當に對し二十三日現在でその九六%を供出二十五日には完遂の見込で郡下のトップを切ると見られている

川部の供米

年内に完了

川部村農業協同組合の本年度割當供出米は三千五百俵で廿一日迄に檢査濟みの供出米は二千五十七俵で内二等品は二割程度殘は四等品向二十二日と二十六日、二十九日の三回に檢收し年内中に供出完了の見込み

試演會開く

舞台藝術研究會

平市鑿匠町白井欽一氏を中心に演劇愛好家に依って結成された舞台藝術研究會第一回試演會は二十五日夜カトリック教會に開催、郡下唯一の詩誌『去來』編集者光田年雄氏原作の詩劇一幕『石の中』を白井きん一氏演出で上演、研究の成果を綜合的に檢討した、尚第二第三回の試演會を豫定して居る

モチ米輸送中

勿來であがる

東京都大田區御園一ノ三運轉手五十嵐善吉（四〇）同港區芝浦一ノ三八運轉手綠川行和（二二）の兩名はトラックでモチ米二俵を東京方面にヤミ賣りしようと運搬中二十三日朝勿來町檢問所で捕まった

主人の金盜む

湯本町天王崎タモツ自轉車店々員鈴木某（一七）は去る七月上旬ころから十二月中旬にかけて前後五回に亘り店舗内から現金五千九百円を盜んだことが判明し二十三日湯本町署では書類送檢した

女給を斬る

虎男捕まる

内郷町高坂字櫻井九〇無職遠藤幸雄（二三）は二十四日夜十一時半ころ同町宮字金坂丸金食堂金海龍さん方で酔つ拂い飲んだトックリの數のことから女給の佐藤登記子（二二）さんと口論の末ナイフで切りつけ右手に全治十日間の傷害を與え現行犯で捕まった

巷の出來事

◇湯本町日渡無職小野サワ子（四一）は去る八月六日ころ同町天王崎四二九頭見洋品店で代金は明日支拂うと嘘を吐き白麻生地外二點計千百円相當を詐取したことが判明し二十一日湯本町署へ

◇湯本町下淺貝運搬夫伊藤金太（四四）同町八仙採炭夫高橋源之助（六二）同町日渡鑛時夫佐藤登參（二二）の三名は十三日夜十一時半ころから翌朝三時ころまで伊藤方奥六畳間で花札賭博を行ったことが判明し二十日湯本町署へ

◇勿來町大字酒井字高畔二〇前科五犯無職柴又善則（三五）は去る十八日午後三時頃同字無職折笠安吉（六四）さん方から給など衣類四點（五千八百円相當）を盜んだ容疑で二十一日勿來町署に捕まった

カトリックで降誕祭

餘興もあり大賑い

☆…石城カトリック教會では イエスキリストの降誕祭を迎え二十五日午前零時からミサを行った、午後六時からは市内の良い子、信者たちが集まりXマスの余興會を開き教壇は舞台を化してXマスツリーの輝きも一段と美しかった。

☆…賑い教會は約三百名の人達で賑い着飾ったお嬢ちゃんや坊ちゃんの踊り、遊戯、お姉さん達のアヴェマリアの合唱や舞台藝術研究會員の詩劇『石の中』（詩人光田年雄作）等々盛會裏に催しにしばし子供たち大よろこび教會は夜九時過ぎまでエデンの樂園と化し賑った（寫眞お嬢さん達の踊り）

いわき俳壇

五月會句抄

十二月二十一日納會　渡邊何鳴選

1

ストーブに來し人髮に雪とめて　小野

ストーブに炊く飯盆の噴き始む　一同に爆笑あがる暖爐かな　語らひは生活に及ぶ暖爐かな　高木い

ストーブや讀みさしのまゝ理髮台　柴田

ストーブや瓶の紅花あざやかに　柴田

罐瓶のたぎりそめたる暖爐かな　金子

暖爐の火ちろりとろりと更けにけり　金子

歸る子にストーブの火を落すまじ　平尾

そぐろ寒くふとかへりみる暖爐　馬場

暖爐のな　馬場

蜜柑むきつゝ夜深き暖爐かな　神谷

膝頭焦げむばかりに暖爐燃ゆ　神谷

ストーブに食後の椅子を寄せて讀む　何鳴

2

勞務者の破手袋や吹かれゆく　柴田

手袋やなお冷えのくる夜の舗道　柴田

石を蹴る子の手袋の紅くして　平尾

手袋のまゝ來一客に茶を點ず　金子

手袋の指先破れしままにあり　谷

手袋をわすれしほどのよき日和　谷

よごれたる古手袋をかけてみる　平尾

今は亡き姉の編みし手袋よ　大河原

初めての手袋に子は喜々として　高木い

手袋の手を頬にあてただずめる　馬場

手袋の手のさしぐねく車窓かな　金子

勞働の手袋日々にけがれゆく　何鳴

金詰り風が身に泌みて金の欲しい年の瀬にこれはなんと

昊と云う大枚一万円を知ってか知らずか、受け取らないと云う遠慮深い御仁があるんデス……過日賣り出された道路復興寶くじの大當り一万円（六十六の組、二二六〇三）が湯本町榮田地内に博げこんでいることが判明したが、肝心の當籤者が現われず同役場では『迷子の當籤者ヤアーイ』と幸運者の現れるのを鶴首の思いで待っている、幸運者は支拂期限ギリギリに現れるのか、ハタまた番號の見誤りから空くじと早合點してビリッと破って捨てたのか、はてはて人のことでも氣がもめること……

JOCP ラジオ JOHQ

【27日】

ローカル

前七、一五 あぜみち通信（二二）

宗像爲

後五、一五 子供の時間『わらべ唄』

郡山放送子供會

後六、三〇 河童の目第十六夜

郡山放送劇團

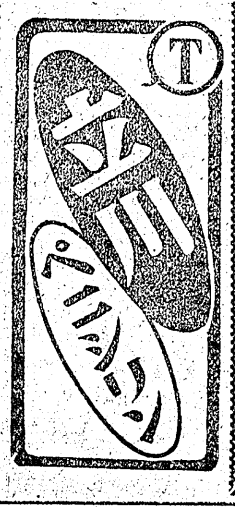
〔入院隨意〕
外科
松田病院
小名濱町驛前通り
電四三四番

まあ あなた
なにはなくとも
お茶一つ
山登園
お電話次第 平市大町通り
迅速に配達 電話五三〇番

資生堂石鹸
SHISEIDO
東京 銀座

全商品 百円以上 一割引
暮歳 大賣出し中
クリスマス贈答品
定評ある大塚の靴
運動具各種
平市驛前三十米道路
大塚
電七七

27・8日2日間限り
歯みがき
これは二十世紀の大悲劇!!
生々しい現實を劇化せるセミドキュメンタリイ映畫
最優秀傑作
四七年度アカデミイ特別賞授賞作品
デ・シーカ監督
聚樂館



本場自慢
牛豚肉
平市一丁目 電五三九番
夜も營業しております
お電話下されば即速配達
第一綠屋
平市中央通 電七九四番
第二綠屋

富ヶ浦病院
院長 安田善一
副院長 佐藤正
部員 松生辰三郎
小名濱町 電三三